



第五回 市民賞

鈴江さんら五人

第四回目を迎えた市民賞の授賞者には、鈴江潤次郎さんら五人の人が決まりました。この市民賞は、広く一般市民のなかから産業、教育、文化、政治、社会労働などの各分野に貢献された功労者や社会のための事業、善行など、かくれた篤行者をあらかじめ市民から候補者として推せん願ひ、表彰選考委員会において選考し、その答申を得て表彰者を決めることになっていいます。...

【教育】 小笠原 勝次 (87) 三島 高知師範卒、岩村、朝倉小学校長など三十七年間歴任。退職後は田長岡村信用組合専務に就任、環めつ寸前の組合の再建に尽力、今日の長岡農協の基礎を築く。岡長岡村会議員、同教育委員、南園長命会長、果老人クラブ理事など教育の理念をもって社会に尽くした。 (推せん者) 沢田 義幸 (三島)

【社会福祉】 山崎 英子 (64) 下末松 婦人会副会長、田長岡村婦人会長など三十余年、婦人会の最高指導者として、婦人の智徳、教養、団結の向上につとめ、民生委員、納税組合長、共同炊事の指揮、経営に、婦人独特のやわらかさをもって、公共の奉仕につとめた。 (推せん者) 横田 達喜 (物部)

【産業】 山本 美寿儀 (62) 十市 父祖の業である油紙によるハウス園芸に従事、いち早く新による加温園芸に着手、十市園芸の基礎をつくる。その後、県内外からの視察者、講習者が後をたたく。現在の園芸王国、高知を生みだした。現在、十市農協園芸部の組合長として園芸の指導にあたっている。 (推せん者) 土居 太興 (十市)

【行政】 細川 幸喜 (70) 上野田 昭和六年から二十四年間、議会議員、この間、田野田村議長、田後免野田組合議長を歴任。その後三年間田野田村長、大同合併の実現、市の発足に尽力、市発足後は公選市長のできるまで市長職務執行者の重責をはたし、南国市の基礎をつくられた功績は大きい。 (推せん者) 沢村 武一 (十市)

親子クイズ(15)

ご家族で話し合ってください。今月号の広報にでています。
▼もんだい
①市庁舎は、12月〇〇日(日)に落成式を行ないます。
②新しくつくられるゴミ焼却場は、1日〇〇トンの焼却能力があります。
③「一日課長」の原稿のしめきりは1月〇〇日(土)までです。
▼しめきり・12月15日(金)▼おくりさき・南国市東崎、南国市役所内、広報委員会▼しょうひん・特賞 2,000円 1人、残念賞(記念品) 10人
★特賞に 武市静子さん(東崎)
第14回の正解者発表
▼こたえ、①稲生のママサンバレーチームで、いちばん年をとっている人は④⑤歳です。②写真コンテスト、「伸びゆく南国市」の応募のしめきりは、来年①月31日です。③南国郵便局は、局舎を改築するため、来年7月まで南国市④地に移転しています。
▼特賞 2,000円 武市静子(東崎)
残念賞 記念品 大川みちよ(岡豊町八幡) 石原為男(後免町) 細木喜代(立田) 山本誠之(久礼田) 岩原明美(白木谷) 野村忠利(植野) 門田昌明(植田) 植田由喜(岡豊町滝本) 松木いづみ(浜改田) 加藤貴久(大浦)

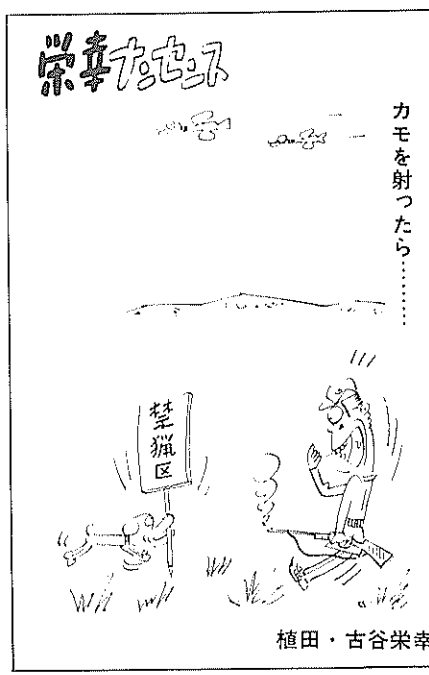


部連絡員は、市役所の文書や配達することだけと思つてしまいがたが、その文書も各戸のもの、回覧ものなど、てんでバラバラ。そのうえ注文をとったり集金したりの用事が多くて驚ろいていいます。いったい連絡員の仕事は、どの範囲まですればよいでしょう。
★お答えします
部連絡員のみさんには、いつもお世話になっていいます。さて、連絡員の方にお頼みします文書などにつきましては、従来

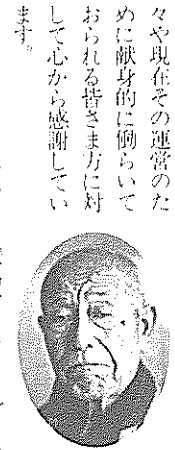
部連絡員は、市役所の文書や配達することだけと思つてしまいがたが、その文書も各戸のもの、回覧ものなど、てんでバラバラ。そのうえ注文をとったり集金したりの用事が多くて驚ろいていいます。いったい連絡員の仕事は、どの範囲まですればよいでしょう。
★お答えします
部連絡員のみさんには、いつもお世話になっていいます。さて、連絡員の方にお頼みします文書などにつきましては、従来

火の用心 慣れた火に 新たな注意

この「火」の字に深い意義を感じます。即ち天与の生命とは、単に肉体だけではなくて、霊を併せているはずだと思ひます。私の永い生涯に山積みされた多くの過誤を反省して、少しでも老後を淨めることが、もしもかないましたら、このホームの生活も、私の人生道場の一となるわけにやう。
緑こぎ、年越山の清風園、希望の家と、魂くらべかな
古墳さへ出でし年越山の肌、わかかわしかり清き風ふく



カモを射つたら... 植田・古谷栄幸



片岡光清 土佐清風園

八十年にわたる私の生涯に、ありがたいと思つたことは、大無数であります。この老人ホームの生活こそは、一番新鮮であります。このホームの建設に尽力して下さった有志の方々や現在の運営のために献身的に働いておられる皆さま方に対して心から感謝しています。
このホームの隣地には「希望の家」があります。周知の通りここには沢山の不幸な少年がいますが、時折この少年たちを見るうちに私は改めて人間の、生命の尊さを知りました。世間には家族計画の名のもと

この「火」の字に深い意義を感じます。即ち天与の生命とは、単に肉体だけではなくて、霊を併せているはずだと思ひます。私の永い生涯に山積みされた多くの過誤を反省して、少しでも老後を淨めることが、もしもかないましたら、このホームの生活も、私の人生道場の一となるわけにやう。
緑こぎ、年越山の清風園、希望の家と、魂くらべかな
古墳さへ出でし年越山の肌、わかかわしかり清き風ふく

せんは、市の依頼文を必らずつけてお願ひします。依頼文のないものにつきましても、業者が勝手にやっているものと思われまので、ご了承下さい。
以上が仕事の内容の概略ですが市役所の円滑な運営をはかるためには、どうしても連絡員の皆さんのお力添えがなくては達成できませんので、今後ともよろしくお願ひします。
総務課長・浜田信喜

上保存者は語るでも、こうした意見が圧倒的でした。広報委員会では、こうした市民の要望をとり入れて、来年度から月二回発行に变身すべく努力してあります。すでに豊田市(愛知県)徳山市(山口県)などが月三回発行、全国的に月二回発行の市町村が急増しています。
計画では、現在の広報誌の大きさで八ページ、一日と十五日の二回発行、誌面構成は、お知らせ欄市議会状況、市民のひろば、市政の解説を重点的にとりあげます。とくに、お知らせ欄は、各課のお知らせ事項をすべてとりあげ、広報誌をみれば、すべてOK、というところまで進めたいと思つていいます。
広報委員長・山本尚一